

「姫路市高齢者保健福祉計画及び姫路市介護保険事業計画 中間とりまとめ（案）」

に対する市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について

1 市民意見の提出状況

- (1) 案件名 : 姫路市高齢者保健福祉計画及び姫路市介護保険事業計画
中間とりまとめ（案）
- (2) 意見募集期間 : 令和2年12月23日（水）～令和3年1月22日（金）
- (3) 意見提出件数 : 10通 13件

2 市民意見の内容

項目		件数
V 施策の推進		
	基本目標1 生きがいを感じながら暮らすための支援の充実	
	重点事項1 介護予防に関する認識の変革	2件
	重点事項3 高齢者を取り巻く環境の充実	1件
	その他	1件
	基本目標2 困りごとを地域全体で受け止める体制の構築	
	重点事項3 世代や分野を超えたつながりの構築	3件
	基本目標5 安定した介護サービスの提供	
	重点事項1 多様な住まいとサービス基盤の確保	3件
	重点事項2 介護人材の確保・定着支援	2件
その他		1件
合 計		13件

3 提出された市民意見及び意見に対する市の考え方

番号	提出された市民意見（要旨）	件数	市の考え方	頁	計画への反映
V 施策の推進					
基本目標 1 生きがいを感じながら暮らすための支援の充実					
重点事項 1 介護予防に関する認識の変革					
1	16 ページ「自主グループの立ち上げは、市内全域に浸透したため、・・・」との記載があり、31 ページ「介護予防普及啓発事業の実施」では、通いの場の立ち上げ支援を実施する旨の記載があります。通いの場の立ち上げ支援を強化していくという方向であるなら、16 ページの記載は工夫が必要であると思いました。また、このような自主グループの運営支援には、立ち上げと同じく、次のリーダーの育成や発掘等の視点も大事であると思います。運営支援についてもう少し詳しい記載が必要であると思いました。	1	自主グループの立ち上げが市内全域に一定程度浸透していることによりグループ数の増加が鈍っています。しかし、参加している高齢者が限定的であるため、通いやすい身近な場所での通いの場が立ち上がるように支援を行いつつ、立ち上がった通いの場に高齢者が参加し続けられるように継続支援に努めて参ります。 これらの内容で 16 ページの記載を修正します。	16	○
2	50 ページに示されているように、2019 年 6 月に政府によりまとめられた、認知症施策推進大綱の大きなテーマである「認知症の人の声を聞く」ための仕組みや工夫の検討が必要ではないかと思われます。具体的には、現行の認知症サロンやいきいき百歳体操のように地域の高齢者が集える場としての機能に加えて、認知症の人もメンバーとして活動する「チームオレンジ」の機能についても検討が必要ではと思います。また、認知症サポーター養成講座を受講された方を中心に活動できる場として位置付けられてはどうか。	1	ご意見をもとに、今後の施策の参考にさせていただきます。	31	

番号	提出された市民意見（要旨）	件数	市の考え方	頁	計画への反映
重点事項３ 高齢者を取り巻く環境の充実					
3	20 ページの介護者が不安に感じる介護でも触れられているように、「外出時の付き添い、送迎」等について一番高い結果が出ているが、その対策の検討が必要ではないかと思われます。具体的には、福祉有償運送などの充実が求められる。	1	福祉有償運送運営協議会を定期的に開催し、外出が困難な方の個別輸送について協議を行っております。今後も引き続き福祉有償運送の事業実施団体の増加に向け、広報に努めて参ります。 また、32 ページの介護予防ボランティア事業において、高齢者自身の介護予防の視点からボランティアの活動範囲を見直す中で、自宅近辺への外出支援について検討しています。	32	
その他					
4	地域での取組、地域の中での一人ひとりの取組、専門機関・専門職の取組などがうまく連携できるような体制づくり、また一人でも多くの住民が地域活動に関心を持ち、活動に参加できる仕組を進めていってほしいです。	1	ご意見をもとに、今後の施策の参考にさせていただきます。	30	

番号	提出された市民意見（要旨）	件数	市の考え方	頁	計画への反映
基本目標 2 困りごとを地域全体で受け止める体制の構築					
重点事項 3 世代や分野を超えたつながりの構築					
5	「ヤングケアラー」のような高齢・介護の分野だけではアプローチしにくい問題に対して連携した支援を容易にするためにも、分野を横断するような体制づくりを進めていってほしいです。	1	ご意見をもとに、今後の施策の参考にさせていただきます。	40	
6	地域共生社会の実現に向けて、高齢者介護のみならず障害福祉、子どもなどの総合的な施策の展開が必要と思われる。	1	他分野との連携につきましては、基本目標 2 重点事項 3「世代や分野を超えたつながりの構築」に記載しております。 他分野と連携を進めることで、地域共生社会の実現に向けて取り組んで参ります。	40	
7	誰かの「生き辛さ」「生活のし辛さ」を全市民が「我が事・丸ごと」として参画する「地域共生社会の実現」の具体的な行動計画を検討して実行する役割を果たすべきである。そのために、 1. 「地域共生社会の実現」を部・局を超えた全市的な取り組みと位置づけ、介護保険制度における地域包括ケアシステムを参考にしながら具体的な行動を計画し実現する。 2. 「地域共生社会の実現」のために行政内、あるいは地域住民間に存在する様々な障壁をなくすための啓発活動を実施する。	1	他分野との連携につきましては、基本目標 2 重点事項 3「世代や分野を超えたつながりの構築」に記載しております。 他分野と連携を進めることで、地域共生社会の実現に向けて取り組んで参ります。	40	

番号	提出された市民意見（要旨）	件数	市の考え方	頁	計画への反映
基本目標 5 安定した介護サービスの提供					
重点事項 1 多様な住まいとサービス基盤の確保					
8	現状では自立や要支援等の比較のお元気な高齢者への施設・住宅に関する情報提供が不十分であると考えています。対象者の身体状況や収入状況・家庭環境等を加味した上での入所の提案を行って頂けるようにお願い致します。 また、養護老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス）に関する世間への認知度が低いように感じるのです。市役所に問い合わせがあった際には十分な情報を提供して頂けます様、お願い致します。	1	各関係機関等と連携しながら、正確かつきめ細やかに情報提供できるよう、取り組んで参ります。 ご意見を踏まえて、「高齢者向け施設・住宅等の確保や住まいに関する情報提供に努めるとともに、多方面からの相談に適切に対応します。」といった表現に改めます。	55	○
9	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅へも、しっかりとした指導を望みます。	1	ご意見を参考に、適切な指導に取り組んで参ります。	56	
10	昨今のコロナ禍において医療業界及び介護福祉ではタイムリーな感染状況及び検査状況の情報が必要なことを痛感している。 個人情報の保護や風評被害等の問題はありますが行政の権限で特別な情報のネットワークを構築してほしい。	1	本市では、個人情報の保護に十分留意しながら感染予防に必要な情報を公表するとともに、感染された患者さんご本人やご家族、患者さんの職場等と連携し、感染対策に取り組んでいます。また、クラスターなど感染拡大の恐れを疑う場合は、施設名の公表も含めた対応も検討しています。 なお、当該御意見については、保健所や危機管理部局にも情報共有させていただきます。	60	

番号	提出された市民意見（要旨）	件数	市の考え方	頁	計画への反映
重点事項２ 介護人材の確保・定着支援					
11	今後増え続ける地域の介護を支えるのは介護施設等の重要な役割の一つです。その介護施設の利便性が良くてこそ地域住民に優しい施設になる。 現場を支える職員に対し、より通いやすく、勤めやすく、環境を整えることで、高齢化が進んだ社会でも安心して地域で暮らし続けていける環境が整うのではないかと。 利用者と職員双方に対する利便性が良くなければ、必要な地域に必要なサービスの確保はかなわない。つまり、地域ぐるみの支援がかなわない。 次期計画において、高齢化しても各地域で暮らしやすさが守られるように、各鉄道駅舎と職場をつなぐ公共交通機関（既存またはコミュニティバス）の運営を公的に実現、または事業所委託で実現して欲しい。	1	介護人材の確保と定着については、介護人材実態調査等を通じた現状の把握や介護施設等からの意見を収集するほか、市で実施する事業の実績や費用対効果を検討しながら、効果的な介護人材確保施策となるよう、引き続き取り組んで参ります。 また、コミュニティバス等の運行は地域の協力や理解が大変重要となっており、総合交通計画において必要な施策の検討を行っています。	61	
12	介護事業所も処遇の改善や研修等を実施し離職しないように鋭意取り組んでいるが、現在の介護人材不足の解消は、一事業所では到底改善できない。今回の計画においても「介護人材の確保・定着支援」で様々な事業が計画されているが、さらに費用助成や研修事業を拡充してほしい。また、実施方法についてもコロナ禍でも実施ができるような方法も取り入れてほしい。	1	介護人材実態調査等を通じた現状の把握や介護施設等からの意見を収集するほか、市で実施する事業の実績や費用対効果を検討しながら、効果的な介護人材確保施策となるよう、引き続き取り組んで参ります。 介護職員交流育成プログラムでは、オンライン方式を取り入れるなど、コロナ禍でも実施できるよう取り組んでいますが、他事業でもより柔軟な対応ができるよう、実施方法の見直しを進めて参ります。	61	

番号	提出された市民意見（要旨）	件数	市の考え方	頁	計画への反映
その他					
13	各課題に対する施策について、従来からの継続事業であるのか、新規事業であるのか、また、姫路市としての独自事業が分かるような表記が必要と思った。	1	計画策定にあたり、現在実施中の事業も含めて地域包括ケアシステムの実現という目的に向けての施策として整理いたしました。継続事業は表記しませんが、新規事業及び拡充事業は表記するよう修正します。	62 ～ 64	○

4 中間取りまとめ（案）からの変更点

【旧】 中間取りまとめ（案） 16 ページ	【新】 計画（案） 16 ページ
● 自主グループの立ち上げは、市内全域に<u>浸透したため、想定したよりもグループ数が増加せず、計画値と比較して低くなりました。</u> ● 認知症サポーター養成者数は、計画値を若干下回りました。 ● 今後は、立ち上がった自主グループが活動が続けられるように継続支援に取り組みます。また、地域や職域で認知症への理解を深めるため、認知症サポーターを<u>引き続き養成します。</u>	● 自主グループの立ち上げは、市内全域に<u>一定程度浸透していることにより、グループ数の増加が鈍り、計画値と比較して低くなりました。</u>しかし、参加している高齢者が限定的であるため、通いやすい身近な場所での通いの場が立ち上がるように支援を行いつつ、立ち上がった自主グループが活動が続けられるように継続支援に取り組みます。 ● 認知症サポーター養成者数は、計画値を若干下回りました。<u>地域や職域で認知症への理解を深めるため、認知症サポーターを引き続き養成します。</u>

【旧】 中間取りまとめ（案） 55 ページ	【新】 計画（案） 55 ページ
（１）高齢者向け施設・住宅等の提供 取組の方向性（課題） ○高齢者の多様化するニーズや身体状況に 合った高齢者向け施設・住宅等の<u>提供に努め るとともに、住まいに関する情報提供・相談 体制を整備し、必要な支援を行います。</u> （略）	（１）高齢者向け施設・住宅等の提供 取組の方向性（課題） ○高齢者の多様化するニーズや身体状況に合 った高齢者向け施設・住宅等の<u>確保や住まい に関する情報提供に努めるとともに、多方面 からの相談に適切に対応します。</u> （略）

【旧】 中間取りまとめ（案）	【新】 計画（案）
62 ページ （１）多様な人材の参入促進 （略） ●<u>介護職員等 U J I ターン支援事業の実施</u> （略） 63 ページ （２）人材の育成・資質の向上 （略） ●<u>介護職員初任者研修受講費用の補助</u> （略）	62 ページ （１）多様な人材の参入促進 （略） ●<u>介護職員等 U J I ターン支援事業の実施【拡 充事業】</u> （略） 63 ページ （２）人材の育成・資質の向上 （略） ●<u>介護職員養成研修受講費用の補助【拡充事業】</u> （略）